

就学前から 楽しめる読み物



……読んでもらうなら……

＝おすすめの13冊＝

あおい目のこねこ



マチセン

エゴン・マシーセン さく
せたていじ やく
福音館書店

あおい目のげんきなこねこが、ねずみのくにをみつけにでかけました。でも、だれにきいてもねずみのくにはわかりません。とちゅうであったきいろい目の5ひきのねこも、ねずみのくにをさがしていました。そのねこたちはいぬにおびえて、あおい目のこねこにたすけをもとめました。そのとき、「わん！」というこえにびっくりしたあおい目のこねこがおちたところは、なんといぬのせなか。ふりととせられないように、しっかりつめをたてました。

いやいやえん



ナカカワ

中川李枝子 さく
大村百合子 え
福音館書店

しげるは、かおをあらっていません。ようふくもきていません。あさごはんもたべていません。「ほいくえんなんかいやだい。せんせいなんがきらいだい。おべんとうなんかいやだい。」手と足をふりまわしています。きょうは、ちゅーりっぷほいくえんではなく、いやいやえんにいくことになりました。ここでは、けんかしたければけんかするし、なきたければなくし、いやならやらなくていいし、ずきなことだけしていればいいのです。

おおきなおおきなおいも

—鶴巻幼稚園・市村久子の教育実践による—



アカハ

赤羽末吉 さく・え
福音館書店

きょうはあめ。あおぞらようちえんのいもほりえんそくは、1しゅうかんおあずけです。みんながっかりしていると、ひとりのこがいました。「だいじょうぶ。おいもはね、1つねるとむくっとおおきくなって、3つねるとむくつむくつとおおきくなって、みんなをまててくれるよ。」そーんなおおきなおいも、どうやってほりだすの？かたんかんたん、それはね……。あるようちえんでのできごとが、たのしいおはなしになりました。

おっとあぶない



リフ

マンロー・リーフ さく
わたなべしげお やく
フェリシモ出版

このほんは、まぬけだらけ。おふるにとびこんで、あついいおゆだけだしてやけどをする「ふるばまぬけ」。おもちゃがおきっぱなしのかいだんをかけおり、ころんでけがをする「かいだんまぬけ」。みぎとひだりをよくみないで、どうろへでいく「ほんやりまぬけ」。いろいろなまぬけがとうじょうします。きみはこんなにまぬけなことはしないとおもうけれど、くれぐれもちゅういしてね。

こぐまのくまくん



ミナリツク

E・H・ミナリツク ぶん
モーリス・センダック え
まつおかきょうこ やく
福音館書店

そとはゆき。こぐまのくまくんは、おかあさんにぼうしやオーバーをこしらえてもらっても、まださむがっています。「けがわのmantがほしい。」おかあさんは、くまくんのふくをぜんぶぬがせ、ポンポンとからだをたたいていました。「ここにありますよ。」くまくんは「もうさむくない。」と、げんきよくおもてにでていきました。そんなくまくんとおかあさんのおはなしが4つはいつています。

ジオジオのパンやさん



キシタ

岸田衞子 作
中谷千代子 画
あかね書房

こむぎばたけのまんなかに、ピンクのれんがのおみせができました。らいおんのジオジオのパンやさんです。しまうまパン、きりんパン、うさぎパン、どせいパン、それにぼうしパンまであるんです。子どもたちは、ジオジオからもらうおまけのパンがとてものしめでした。ジオジオがうとうとしていると、せなかにギターをしょったろぼがやってきました。ぼうしもくしゃくしゃ、スポンにはつぎがでてあります。そんなろぼがギターをひきだすと……。